RFIDを利用した原紙管理システム (トレーサビリティー)

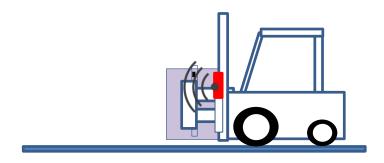
クランプリフトでの倉庫内搬送において原紙の現品認識が可能。

- 1.クランプリフトで原紙を掴んだ際に現品を認識することが可能
- 2.クランプリフトが倉庫間を移動した際にどの現品が移動したか自動で認識
- 3.貼合機へ原紙が挿入される際にどの現品が挿入されたか自動で認識
- 4.貼合機の計画・実績を管理することによりトレーサビリティーが実現

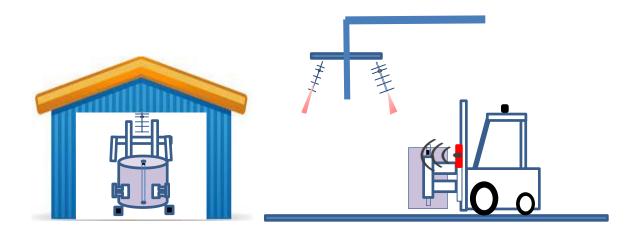
残原紙の残量を自動で管理可能

最適な原紙の在庫管理が実現可能

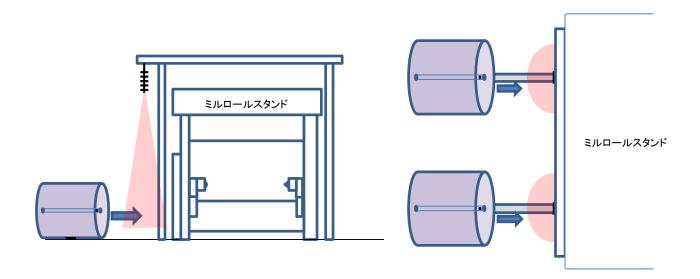
1. クランプリフトがどの現品を積載しているか自動で認識



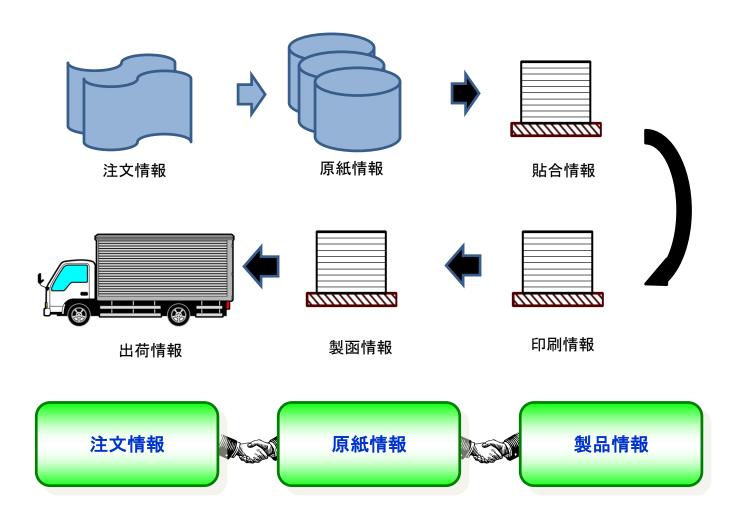
2. クランプリフトが倉庫間を移動した際にどの現品が移動したか自動で認識



3. 貼合機に原紙が挿入される際に自動的にどの原紙が挿入されたか把握



4. 貼合機の計画・実績を突き合わせることによりトレーサビリティーが実現



お問い合わせ

日鉄テックスエンジ株式会社 電計事業本部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル TEL:03-6860-6630

■システムソリューション事業部 システム2部北九州システムグループ 〒805-8555 福岡県北九州市八幡東区前田1320-4 TEL:093-288-5080 https://www.tex.nipponsteel.com